

あかるく かしこく たくましく

令和7年2月19日 No. 43 文責：校長 佐野紳二

「推し」について考える

つい最近、ネットニュースで YOASOBI の「アイドル」という楽曲が、ストリーミングによる再生回数9億回を突破したという記事を目にしました。同楽曲は2023年にリリースされた、TVアニメ「推しの子」第1期のオープニング主題歌で、以前にも学校通信で「2023年に最も売れた曲」として紹介したことがあります。そんな記事を見ていたら「推し」という言葉がやけに気になったので、ちょっと調べてみました。今週の学校通信は「推し」について、お付き合いください。



「推し」とは？

「推し」とは、主にアイドルや俳優について用いられる日本語の俗語で、**人に薦めたいと思うほどに好感を持っている人物のこと**をいいます。

元々は、アイドルグループの中で最も好感を持っている人物である推しメン（おしメン）を由来とする言葉で、『デジタル大辞泉』では「推しの主演ドラマ」という用例が挙げられています。また、「私は〇〇推しだから」（「〇〇が好きだから」の意味）「推ししか勝たん」（「推しだけが最高」の意味）のようにも使われます。

「推しメン」という言葉は、1980年代のアイドルブームの際に登場し、その後、2000年ごろになると2ちゃんねる（現・5ちゃんねる）で「モーニング娘。」のファンによって使われるようになりました。その後、「AKB48」の台頭によって言葉が広まり、2011年にはユーキャンの「新語・流行語大賞」にノミネートされました。その後、「推し」という語句は2019年9月刊行の『大辞林』第4版、2020年12月刊行の『明鏡国語辞典』第3版といった国語辞典にも収録されました。2021年8月に毎日新聞社が行ったアンケートによると、「推し」という言葉を使うと答えた人は過半数となり、「使わないが、意味は分かる」と答えた人を含めると96%を超えました。 「Wikipedia」より

どうやら「推し」という言葉には、「好きな人物」という意味に加えて「人に薦めたい」という感覚がプラスされた言葉だということになりそうです。別のサイトには、「推し」と「好き」との違いについて、以下のような説明がありました。

「推し」と「好き」は、いずれも好意を抱いている対象を表す言葉です。「推し」は、対象になる人や物への好意だけでなく、他人にも紹介したいという気持ちが込められています。一方「好き」は、心が惹かれていて対象を示すものですが、他人に紹介したいという気持ちが含まれているかどうかは含まれていません。つまり、「推し」と「好き」の違いは、他人に紹介したい気持ちがあるかどうかの一つの基準となると言えるでしょう。 参考：Domani ホームページ <https://domani.shogakukan.co.jp/878528>

ふむふむ、なるほど。曖昧だった「推し」という言葉ですが、ちょっと理解が深まった感じがします。

6年生に「推し」について聞いてみました

この学校通信を書くにあたって、とても忙しい6年生に無理を言って「推し」に関するアンケート調査に協力してもらいました。質問は以下の3つです。

- ① あなたには「推し」がいますか？（今回は実在の人物に限らせてもらいました）
- ② あなたの「推し」はどんな人ですか？
- ③ 差し支えなかったら、「推し」の名前を教えてください。

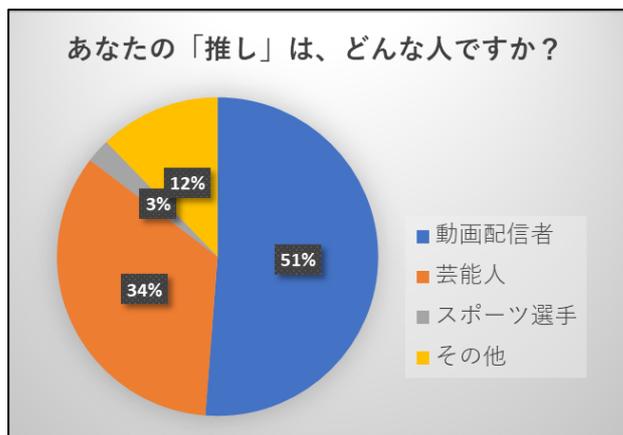
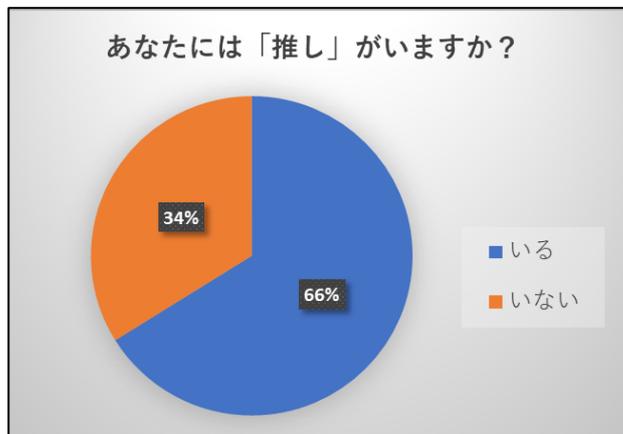
アンケートの結果は右のグラフの通りでした。

「推しがいる」と答えてくれたのが全体の約3分の2でそのうちの約半数が「YouTuberなどの動画配信者」というのは、なかなか興味深い結果でした。子どもたちの生活の中でYouTubeが大きな位置を占めていることが改めて分かった気がしました。

③の「推しの名前」ですが、41人が回答してくれたうち、複数人から名前が挙がったのは3人だけでした。みんなそれぞれに「推し」が違っているというのはとても意外な結果でしたが、個人的には「とても健全な」感じがしました。6年生のみなさん、校長の変な質問にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

ちなみに、6年生が挙げてくれた「推しの動画配信者」ですが、私は1人も知りませんでした。ジェネレーションギャップを思いっきり感じました。また、とても優しい6年生の中には、「推し」の名前に「校長先生」と書いてくれる人がいました。

せっかくなので、6年生が書いてくれた「推し」を、全部掲載してみます。あなたは何人くらい知っていますか？



いむくん いれいすりうら・初兔 ニュージーンズハニ 今日好きたくや こんくん カラフルピーチ キヨ
けなそゆ けなたろう ころん ぶりっつ 夕霧かると 詩学みこと シクフォニ(すち) しなこ じゃじゃまる
しろがねれおすとぷり ちろびの ドズル社 どぬく ふうはや りもこん かざね りよさん 金色のオタク
しゅうと (いんくのメンバー4人) NightA-騎士A-ばうてるコンビ (ばあう、てると) 森ケの日常 おく ねえね
宝鐘マリン 長谷川唯 (サッカー選手) 佐久間大介(snowman) 鈴木ももわちゃん BTS チョン・ジョングク
キム・テヒョン Eve Niziu Rio T,O,P イカゲーム イ・ジョンジェ (ソン・ギフン) ウォニョン 音羽
チョ・ユリ なかやまきんに君 ミセスグリーンアップル 浦島坂田船(センラ) 永野芽郁 山田涼介 有村架純 ト
ビー・フォックス (ゲームクリエイター) 校長先生

私も齢60にして、好きな人物(アーティスト・作家・スポーツ選手 etc...)はたくさんいます。特に好きなのが音楽(家にはCDが600枚以上あり、妻にあきれられています)と本(たくさん持っていますが、9割以上の本は読み終わったあと、ブックオフ行きになっています)で、学校通信でも紹介した「指輪物語」(の作者のJ.R.R トールキン)や詩人の谷川俊太郎さんなんかは、私の「推し」なのかなあ…なんて思います。

でも、一方で(特に音楽は)「自分が好きだったら他人の評価は関係がなく、人に薦めたいとは思わない」という感覚もあり、こちらは「その人のファンだけど、その人は私の『推し』ではない」ということになるのかな?なんて思いました。(ちょっとややこしいです)あと、それとは違って「好きだけど、好きなことを人には知られたくない」という思いがあるものもあり、これも「推し」とは言えませぬ。

どうでもいいことですが、今の私の「推し」は「ずとまよ」です。

